

民生環境水道常任委員会行政視察報告書

齋藤昌之

○静岡県磐田市

磐田市クリーンセンターの概要について

【所見】

磐田市クリーンセンターは、電気式（プラズマ式）の熔融炉を併設した施設であるが、規模的にも足利市が計画する新焼却場に大いに参考になる部分があった。特に、施設内に粗大ゴミ用油圧せん断式破砕機と剪定枝用1軸粉碎機の設置は有効な施設であると言える。

しかし、余熱利用に関しては隣接する厚生会館の浴室、温水プールのみであり、近隣で生産しているクラウンメロンの栽培などには利用していない。また、熔融炉で生産されるスラグやメタルなどの資源化物の売却に関しては課題が見えた。地元対策に関しては周辺環境整備要望がほとんどであり、道路等で6億円、その他1億6,000万円を要し、環境整備協力金1億9,000万円を支払う覚書を締結している。

足利市の場合、焼却炉の形式、熔融炉の形式など慎重に検討をしていく必要があると考える。また、計画にあたっては周辺環境整備として地元住民が要望する道路や水路等の整備はもちろん、施設から作り出される余熱や電力の最大活用策を検討する必要がある。そして、地元振興に偏ることのない足利市民全体の利益に供することを考慮する必要があることを忘れてはならない。それには多くの情報収集に努め、庁内に第三者として専門家を交えた建設検討委員会を早急に組織する必要があると考える。その中において熔融スラグの使用方法について問題視される事例もあったことから、資源化物の利用方法等についても十分な検討が求められる。

○静岡県袋井市

健康チャレンジ！！すまいる運動「健康マイレージ制度」について

【所見】

この取り組みは、生活習慣病の予防から健康寿命の延伸・将来的な医療費削減を目標としている。金銭的インセンティブの付与により、正しい生活習慣（運動・食）への動機づけ支援と、その定着化を目的としており、健康づくりをポイント化し、貯まったポイントを公共施設利用券や民間の登録サービス券と交換、ある

いは、幼稚園や学校、市の基金等へのポイント寄附を通じて社会貢献できる制度である。平成19年度から開始した制度であるが、市民の検診率の高いことから効果は出ている政策であるといえる。

しかし、参加者（平成26年度 約1万人）の内訳を見ると中学生以下が約9割を占めており、市民に定着し継続しているとは言えない。中学校を卒業した後のフォローがないことが大人の参加者が少ない要因ではないかと思う。袋井市の担当者は、そんな中でも大人の参加者中30歳代、40歳代が多いことは成果であると強調していた。

足利市で導入する場合、大人の参加者をいかに獲得するかがポイントであろう。健康への意識は時代とともに向上してきている。しかし、仕事や生活に追われる毎日を過ごしている大人には余裕がないのが現実である。取り組みやすいシステムをつくり、参加しやすい制度にすべきである。目標としては健康寿命の延伸であるので、足利市の特定検診の受診率は現在では3割程度であるが、健幸マイレージ制度導入によって受診率向上が図れるかがその成果として判断できるであろう。